

2009 年度（平成 21 年度）活動報告

I. セミナー

テーマ	講師（所属機関）	司会	期日	主催者	共催者
Literary Politics and the Cold War: The Case of Christina Stead	Michael Ackland (James Cook University/ CPAS 客員教授)	能登路雅子	2009.4.30	CPAS	アメリカ学会
Well-behaved Women Seldom Make History	Laurel T. Ulrich (Harvard University/President, American Historical Association)	遠藤泰生	2009.5.22	CPAS	基盤研究 (A)「公 共文化の胎動」、 アメリカ学会
Mud and Fire: Mormon Diarists on the Iowa Prairie	Laurel T. Ulrich (Harvard University/President, American Historical Association)	遠藤泰生	2009.5.23	初期アメリカ 学会	基盤研究 (A)「公 共文化の胎動」、 CPAS
How the Media Interpreted an Amish Tragedy	Donald Kraybill (Elizabethtown College)	矢口祐人	2009.5.25	東京大学教養学 部国際ジャーナ リズム寄付講座	アメリカ学会、 CPAS
Object-centered History	Laurel T. Ulrich (Harvard University/President, American Historical Association)	服部雅子 (東京大学大学院)	2009.5.27	CPAS	基盤研究 (A)「公 共文化の胎動」、 アメリカ学会
'A Japanese in Every Jet': American Corporate Culture, Modernity, and Mobility in Postwar Japan	Christine Yano (University of Hawai'i at Manoa)	能登路雅子	2009.6.2	基盤研究 (A) 「アメリカの世界 戦略と文化 外交に関する 学際的研究」	アメリカ学会、 CPAS
The Power of Words: The Oratory of Presidents Lincoln and Obama	Fred Kaplan (The City University of New York)	遠藤泰生	2009.6.3	CPAS	アメリカ大使館、 アメリカンセン ター、アメリカ 学会
Japanese Immigrants and the Retreat from White Supremacy in the United States	Lon Kurashige (University of Southern California / 東京大学大 学院総合文化研究科地域 文化研究専攻客員教授)	矢口祐人	2009.7.6	東京大学大学 院総合文化研 究科地域文 化研究専攻、 CPAS	アメリカ学会
Invasion Evasion: Telling Lies to the U.S. Supreme Court in <i>Hirabayashi v. United States</i>	Eric L. Muller (University of North Carolina School of Law)	能登路雅子	2009.7.21	基盤研究 (A) 「アメリカの世界 戦略と文化 外交に関する 学際的研究」	アメリカ学会、 CPAS
Is There a Right to an Education in the U.S. Constitution?: The Continuing Importance of the Case of <i>San Antonio v. Rodriguez</i>	Paul A. Sracic (Youngstown State University/ 東京大学フルブライト招聘教授)	矢口祐人	2009.11.24	CPAS	アメリカ学会
Everything but the Coffee: Learning about America from Starbucks	Bryant Simon (Temple University)	能登路雅子	2009.12.2	基盤研究 (A) 「アメリカの世界 戦略と文化 外交に関する 学際的研究」	アメリカ学会、 CPAS

Lincoln's American Exceptionalism and the Dilemma of Slavery	Dorothy Ross (Johns Hopkins University)	古矢 旬	2010.1.20	基盤研究 (A) 「現代アメリカ・ナショナリズムの複合的編制をめぐる学際的研究」	アメリカ学会、CPAS
アメリカの公共宗教：ナショナリズム／公共性／宗教	藤本龍児 (同志社大学・一神教学際研究センター)	古矢 旬	2010.1.22	基盤研究 (A) 「現代アメリカ・ナショナリズムの複合的編制をめぐる学際的研究」	基盤研究 (A)「公共文化の胎動」、CPAS

II. シンポジウム等

・ 駐日オーストラリア大使講演会

日時：2009年9月25日（金）10時半～12時

場所：東京大学駒場キャンパス

18号館4階コラボレーションルーム1

講演：マレー・マクレーン（駐日オーストラリア大使）

「アジア太平洋地域における日豪関係：未来への協働」

（“Australia and Japan in the Asia-Pacific Region: Partners for the Future”）

コメント：マイケル・アクランド（東京大学アメリカ太平洋地域研究センター客員教授）

関根政美（慶應義塾大学、オーストラリア学会会長）

後藤春美（東京大学アメリカ太平洋地域研究センター）

主催：東京大学アメリカ太平洋地域研究センター

共催：東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻

東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻

・ シンポジウム「オバマと世界——何が変わったのか？」

日時：2009年10月3日（土）13時半～17時

場所：東京大学駒場キャンパス18号館1階ホール

挨拶：山影進

（東京大学大学院総合文化研究科長）

基調報告：西崎文子（成蹊大学大学院法学政治学研究科教授）

「オバマと世界——歴史からの視点」

山内昌之（東京大学大学院総合文化研究科教授）

「オバマの中東政策の行方」

報告：遠藤貢（東京大学大学院総合文化研究科教授）

「オバマ政権の対アフリカ政策——何が変わるのか？」

高原明生（東京大学大学院法学政治学研究科教授）

「オバマ政権と胡錦濤政権——米中関係の微妙なバランス」

酒井啓子（東京外国語大学大学院地域文化研究科教授）

「オバマ政権下で中東政策がどう変わったか」

コメント：恒川恵市（独立行政法人国際協力機構（JICA）理事・研究所所長）

主催：東京大学大学院総合文化研究科附属アメリカ太平洋地域研究センター

共催：東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻

東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻

日本学術振興会科学研究費補助金

基盤研究（A）「現代アメリカ・ナショナリズムの複合的編制をめぐる学際的研究」

基盤研究（A）「アメリカの世界戦略と文化外交に関する学際的研究」

基盤研究（A）「公共文化の胎動」

助成：財団法人アメリカ研究振興会

協力：東京大学大学院総合文化研究科教養学部国際ジャーナリズム寄付講座

III. 研究プロジェクト

- ・日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究（A）「アメリカの世界戦略と文化外交に関する学際的研究」（代表：能登路雅子）
- ・基盤研究（A）「現代アメリカ・ナショナリズムの複合的編制をめぐる学際的研究」（代表：古矢旬）
- ・基盤研究（A）「公共文化の胎動：建国後の合衆国における植民地社会諸規範の継承と断絶に関する研究」（代表：遠藤泰生）

IV. 出版活動

- ・『CPAS Newsletter』 Vol. 10, No. 1（2009年9月）、No. 2（2010年3月）
- ・『アメリカ太平洋研究』第10号（2010年3月）

V. センター所属教員の2009年1月から12月までの研究活動

古矢旬

〔著書〕

- ・『ブッシュからオバマへ——アメリカ変革のゆくえ』（岩波書店、2009年）。

〔論文〕

- ・「アメリカ・ナショナリズム」大澤真幸・姜尚中編『ナショナリズム論・入門』（有斐閣、2009年）、293-314頁。
- ・「研究ノート 宗教的原理主義と世俗政治——アメリカ・キリスト教の場合」『アブラハムの伝統の臨界——三大一神教の哲学、神学、政治論とその外部の地域文化的研究』（平成17年度-20年度科学研究費補助金 基盤研究（A）研究代表者 大貫隆 研究成果報告書）（2009年3月）、165-83頁。
- ・「オバマ政権の政治的課題」『生活経済政策』第147号（2009年4月）、8-12頁。
- ・「オバマ大統領の誕生と変貌するアメリカ——大統領就任演説にみるオバマの政治姿勢」『月刊マスコミ市民』第482号（2009年3月号）、60-70頁。
- ・「オバマは何を変えたのか」『外交フォーラム』第247号（2009年2月）、64-70頁。

〔口頭発表〕

- ・報告 「ブッシュ外交からオバマ外交へ」、日本平和学会 2009 年春季大会、恵泉女子大学、2009 年 6 月 13 日。
- ・報告 “On American Freedom” 東京大学アメリカ太平洋地域研究センター公開シンポジウム「アメリカの自由——過去と現在」、2009 年 3 月 20 日。

〔その他の執筆〕

- ・書評 「木畑洋一著『イギリス帝国と帝国主義——比較と関係の視座』（有志舎、2008 年）」『アメリカ太平洋研究』第 9 号（2009 年 3 月）、204-9 頁。

遠藤泰生

〔分担執筆〕

- ・「アメリカの北太平洋進出」三谷博・並木頼寿・月脚達彦編『大人のための近現代史・19 世紀編』（東京大学出版会、2009 年 10 月）、82-93 頁。

〔その他の執筆〕

- ・報告 「第 42 回アメリカ学会：シンポジウム「21 世紀のアメリカとくボーダー」」『アメリカ研究』第 43 号（2009 年 3 月）、249-51 頁。
- ・書評 「戦後日本の「審級」としてのアメリカ：吉見俊哉著『反米と親米——戦後日本の政治的無意識』（岩波書店、2007 年）」『アメリカ太平洋研究』第 9 号（2009 年 3 月）、175-85 頁。
- ・監修（並木頼寿とともに）『漫画版世界の歴史 7・アメリカ建国と清王朝』（集英社文庫、2009 年 4 月）。
- ・監修『NHK 世界遺産 100 第 14 巻『アメリカの誕生と先史文明』（小学館、2009 年 9 月）。

後藤春美（4 月から 9 月まで）

〔その他の執筆〕

- ・史料文献紹介「ロバート・ビッカーズ著、本野英一訳『上海租界興亡史——イギリス人警察官が見た上海下層移民社会』（昭和堂、2009 年）」『歴史学研究』第 852 号（2009 年 4 月）、57-58 頁。
- ・「回顧と展望 現代イギリス」『史学雑誌』118 編第 5 号（2009 年）、362-65 頁。

〔学会活動等〕

- ・司会 John Darwin セッション、日英歴史家会議（Anglo-Japanese Conference of Historians）、東京大学本郷キャンパス、2009 年 9 月 17 日。
- ・司会 ジュニア・セッション Hiroaki Osawa 報告、日英歴史家会議（Anglo-Japanese Conference of Historians）、東京大学本郷キャンパス、2009 年 9 月 19 日。

橋川健竜

〔執筆〕

- ・「一九世紀前半のアメリカ合衆国における農村型事業の変質——ニュージャージー州南部の製鉄所における労働管理」『千葉史学』第 55 号（2009 年 11 月）、13-28 頁。

〔分担執筆〕

- ・有賀夏紀・紀平英作・油井大三郎編『アメリカ史研究入門』山川出版社、2009年（第3部第1章「参考文献」274-350頁、同第3章「アメリカ史研究文書館案内」第3節、372-74頁）。

〔その他の執筆〕

- ・「コメント」（特集「アメリカ太平洋とイギリス帝国」）『アメリカ太平洋研究』第9号（2009年3月）、60-61頁。
- ・書評 「油井大三郎『好戦の共和国アメリカ——戦争の記憶をたどる』」（岩波書店、2008年）『アメリカ太平洋研究』第9号（2009年3月）、210-15頁。
- ・「オーストラリアの個性にせまる CPAS シンポジウム『アメリカ太平洋とイギリス帝国』」『教養学部報』第518号（2009年2月4日）、7頁。

〔口頭報告〕

- ・報告 「18世紀ブリテン帝国の戦争と先住民の表象——モホーク族の図像を中心とする序論」アメリカ学会第43回年次大会初期アメリカ分科会、津田塾大学、2009年6月7日。
- ・コメント 日本アメリカ史学会第6回年次大会シンポジウム「近世大西洋世界の諸相」、名古屋大学、2009年9月20日。

〔学会活動等〕

- ・編集委員 アメリカ学会英文ジャーナル *The Japanese Journal of American Studies*。
- ・編集副代表 日本アメリカ史学会『アメリカ史研究』。

土屋和代（4月から12月まで）

〔執筆〕

- ・「1964年アメリカ経済機会法における包摂と排除——『可能な限り最大限の参加』条項をめぐって」『歴史学研究』第858号（2009年10月）、18-32頁。

〔その他の執筆〕

- ・報告要旨 「福祉をめぐる闘ぎ合い——ロスアンジェルスにおける『貧困との戦い』と人種、ジェンダー——」『歴史学研究』大会増刊号（2009年10月）、129-38頁。

〔口頭発表〕

- ・報告 「福祉をめぐる闘ぎ合い——ロスアンジェルスにおける『貧困との戦い』と人種、ジェンダー——」歴史学研究会年次大会・現代史部会、中央大学、2009年5月24日。
- ・報告 “Transnational Antiracist Alliances: Black Church Leaders and *Zainichi* Koreans in Japan's Struggles over Citizenship,” The Thirteenth Asian Studies Conference Japan, Sophia University, June 20, 2009.
- ・主旨説明 「ジェンダーとグローバリゼーション・軍事化」同時代史学会第22回定例研究会、立教大学、2009年7月11日。
- ・報告 「越境する市民権運動——川崎市南部における日立裁判支援運動と黒人神学」同時代史学会第8回年次研究大会、東京大学本郷キャンパス、2009年12月5日。

〔学会活動等〕

- ・研究会委員 同時代史学会。